

【Ⅱ 調査結果の概要】

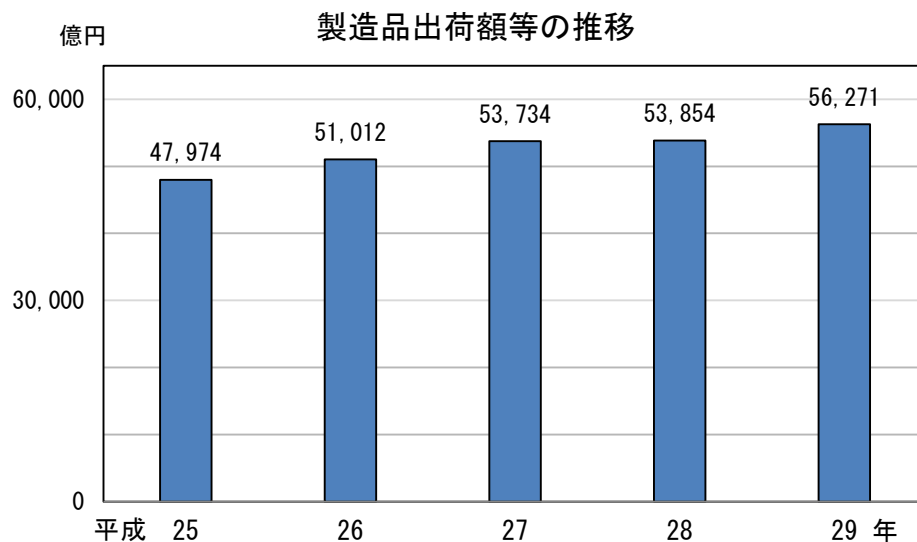
1 概況

平成30年の概況は次のとおりである。

- ◎ 事業所数は、5621事業所で、前年に比べ100事業所減少（前年比△1.7%）した。
- ◎ 従業者数は、20万1329人で、前年に比べ2554人増加（同1.3%）した。
- ◎ 製造品出荷額等は、5兆6271億円で、前年に比べ2418億円増加（同4.5%）した。
- ◎ 付加価値額は、1兆9777億円で、前年に比べ195億円増加（同1.0%）した。

※ 従業者4人以上の製造事業所について、集計・分析を行ったものである。

※ 事業所数、従業者数は平成30年6月1日現在の数値、
製造品出荷額等、付加価値額は平成29年1年間の数値である。



※平成27年は、「平成28年経済センサスー活動調査」の数値である。

※過去の本調査結果やその他の統計資料は、県のホームページでご覧いただけます。

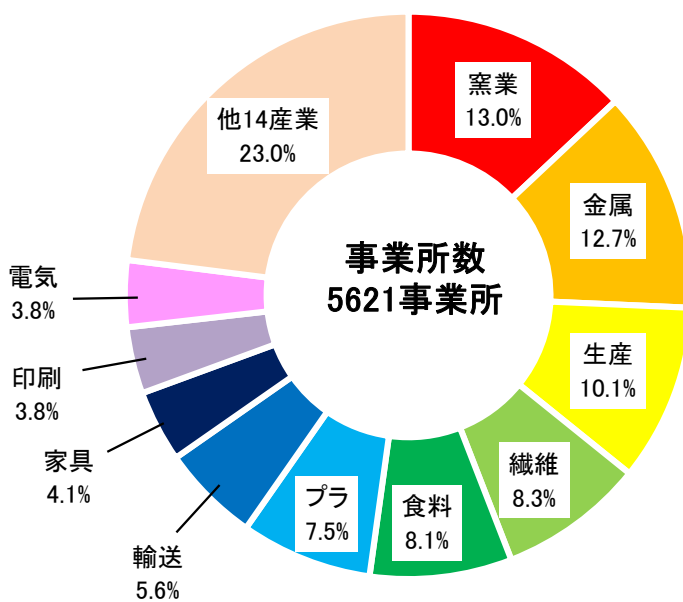
トップ>県政情報>統計>統計情報>工業統計調査

<http://www.pref.gifu.lg.jp/kensei/tokei/tokei-joho/11111/kohyoshiryo/syoukou-jigyousho/kogyo/>

2 事業所数（従業者4人以上）

- ① 事業所数は5621事業所で、前年に比べ100事業所減少（前年比△1.7%）している。（表-1）
- ② 産業別にみると、「窯業・土石製品製造業」が731事業所（構成比13.0%）と最も多く、次いで「金属製品製造業」が715事業所（同12.7%）、「生産用機械器具製造業」が568事業所（同10.1%）となっている。（表-3）（図-1）
- ③ 従業者規模別にみると、従業者4～9人区分の事業所が2087事業所（構成比37.1%）と最も多い。（表-5）
- ④ 圏域別にみると、岐阜圏域（構成比28.3%）、中濃圏域（同25.5%）、西濃圏域（同19.9%）、東濃圏域（同19.8%）、飛騨圏域（同6.5%）の順であった。（表-7）

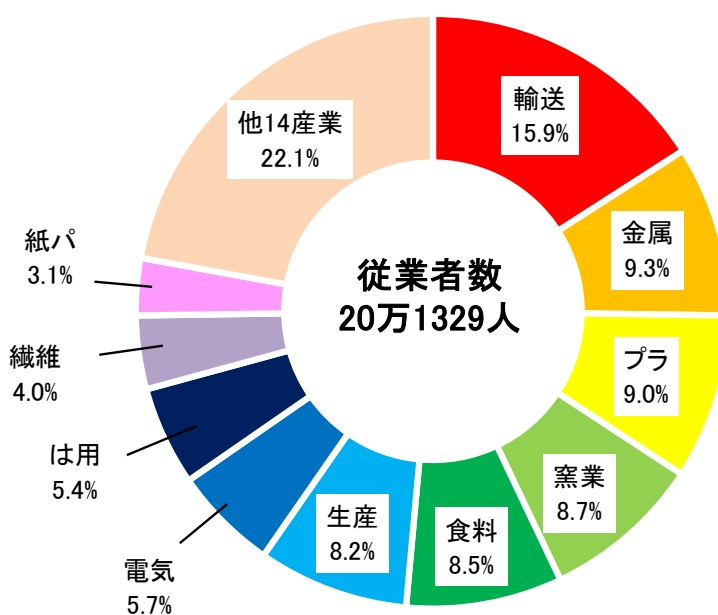
図-1 事業所数の構成（従業者4人以上）



3 従業者数（従業者4人以上）

- ① 従業者数は20万1329人で、前年に比べ2554人増加（前年比1.3%）している。（表-1）
- ② 産業別にみると、「輸送用機械器具製造業」が3万2104人（構成比15.9%）と最も多く、次いで「金属製品製造業」が1万8744人（同9.3%）、「プラスチック製品製造業（別掲を除く）」が1万8080人（同9.0%）となっている。（表-3）（図-2）
- ③ 従業者規模別にみると、「100～299人」が5万2663人（構成比26.2%）と最も多く、次いで「30～99人」が4万9844人（同24.8%）となっており、この2区分で全体の51%を占めている。（表-5）
- ④ 圏域別にみると、中濃圏域（構成比29.0%）、岐阜圏域（同25.5%）、西濃圏域（同22.0%）、東濃圏域（同17.9%）、飛騨圏域（同5.7%）の順であった。（表-7）

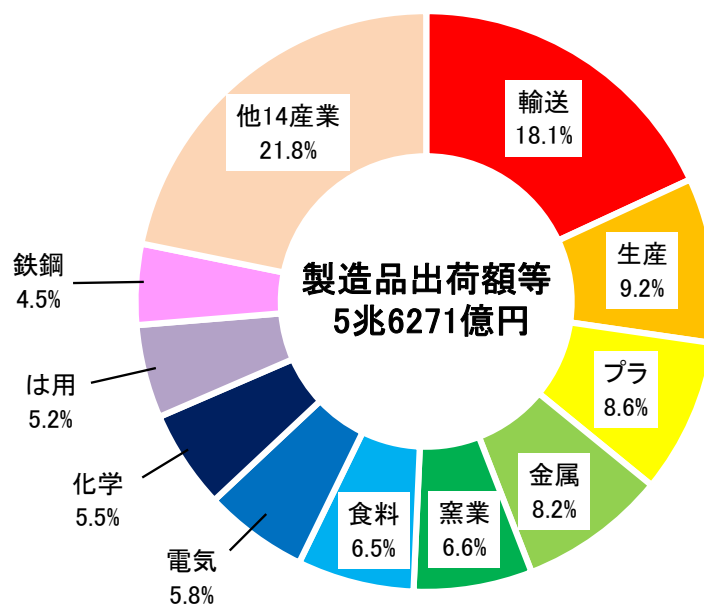
図-2 従業者数の構成（従業者4人以上）



4 製造品出荷額等（従業者4人以上）

- ① 製造品出荷額等は5兆6271億円で、前年に比べ2418億円増加（前年比4.5%）している。（表-2）
- ② 産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が1兆188億円（構成比18.1%）と最も多く、次いで「生産用機械器具製造業」が5165億円（同9.2%）、「プラスチック製品製造業（別掲を除く）」が4815億円（同8.6%）となっている。（表-4）（図-3）
- ③ 圏域別にみると、中濃圏域が1兆6548億円（構成比29.4%）、岐阜圏域が1兆4340億円（同25.5%）、西濃圏域が1兆3257億円（同23.6%）、東濃圏域が9069億円（同16.1%）、飛騨圏域が3058億円（同5.4%）の順であった。（表-8）

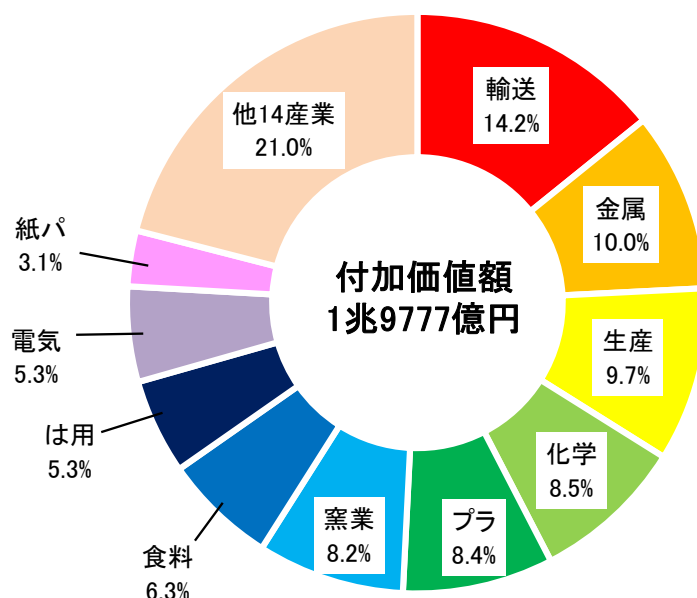
図-3 製造品出荷額等の構成（従業者4人以上）



5 付加価値額（従業者4人以上）

- ① 付加価値額（従業者4～29人の事業所については粗付加価値額）は1兆9777億円で、前年に比べ195億円増加（前年比1.0%）している。（表-2）
- ② 産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が2807億円（構成比14.2%）と最も多く、次いで「金属製品製造業」が1974億円（同10.0%）、「生産用機械器具製造業」が1924億円（同9.7%）となっている。（表-4）（図-4）
- ③ 圏域別にみると、中濃圏域が5511億円（構成比27.9%）、岐阜圏域が5090億円（同25.7%）、西濃圏域が4883億円（同24.7%）、東濃圏域が3086億円（同15.6%）、飛騨圏域が1205億円（同6.1%）の順であった。（表-8）

図-4 付加価値額の構成（従業者4人以上）



6 圏域別にみた事業所数、従業者数、産業別製造品出荷額等（従業者4人以上）

【岐阜圏域】

事業所数は1589事業所で、従業者数は5万1277人である。

製造品出荷額等は1兆4340億円で、産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が4735億円（構成比33.0%）と最も多く、次いで「食料品製造業」が1138億円（同7.9%）、「化学工業」が1114億円（同7.8%）などとなっている。

【西濃圏域】

事業所数は1117事業所で、従業者数は4万4350人である。

製造品出荷額等は1兆3257億円で、産業別に構成をみると、「プラスチック製品製造業（別掲を除く）」が1940億円（同14.6%）と最も多く、次いで「電子部品・デバイス・電子回路製造業」が1264億円（同9.5%）、「輸送用機械器具製造業」が1234億円（構成比9.3%）などとなっている。

【中濃圏域】

事業所数は1434事業所で、従業者数は5万8355人である。

製造品出荷額等は1兆6548億円で、産業別に構成をみると、「輸送用機械器具製造業」が3234億円（構成比19.5%）と最も多く、次いで「生産用機械器具製造業」が2497億円（同15.1%）、「金属製品製造業」が2065億円（同12.5%）などとなっている。

【東濃圏域】

事業所数は1113事業所で、従業者数は3万5940人である。

製造品出荷額等は9069億円で、産業別に構成をみると「窯業・土石製品製造業」が1517億円（同16.7%）と最も多く、次いで「電気機械器具製造業」が1343億円（構成比14.8%）、「輸送用機械器具製造業」が868億円（同9.6%）などとなっている。

【飛騨圏域】

事業所数は368事業所で、従業者数は1万1407人である。

製造品出荷額等は3058億円で、産業別に構成をみると、「化学工業」が859億円（構成比28.1%）と最も多く、次いで「食料品製造業」が387億円（同12.7%）、「非鉄金属製造業」が357億円（同11.7%）などとなっている。

（表－7，8）

図一五 製造品出荷額等の圏域別産業中分類別構成（従業者4人以上）

